

(6) 食料自給率向上対策

事業名 フードアクション備中プログラム

<概要>

備中地域における食料自給率向上について普及啓発を図るとともに、地産地消や米の消費拡大など食料自給率向上に向けた取組を展開するため、農林水産業や消費者、商工、観光、行政130団体による「備中地域食料自給率向上対策会議（会長 備中県民局長）」を平成21年10月に新たに設立した。これら構成団体と県民が、食料自給率の長期的な低下傾向について学び、生産力の強化による食料の安定供給の確保と食料自給率向上の必要性について理解を深め、各々が主体的に食料自給率向上に取り組む活動を支援する。

また、これまでビビッと備中！農林水産いきいきネットワークが行ってきた、消費者を中心とした地産地消の活動については、レストランや小売店実需者等への需要拡大も視野に入れた取り組みとして重点的に行っていく。とともに、生産者、加工グループ等と商工業者との農商工連携を促進し、販路拡大を推進する。

<実施計画>

1 食料自給率向上啓発備中流アクション

- (1) ホームページ（フードアクション備中）、地域メディア等を活用した啓発ラジオ（RSKいきいき備中ホット情報、FMラジオ（FMくらしき）等）、倉敷駅西ビルのSKY-TV、市町・農協広報誌等を活用し、啓発する。
- (2) 食料自給率向上対策会議活動の促進
食育活動の一環として小中学生や消費者等を対象とした出前講座を開催する。
- (3) 米粉・米粉製品の普及・利用推進
生活交流グループ等において米粉料理講習会を開催し、米粉PRの促進を図る。

2 備中地域食材の産地と街を結ぶアクション

- (1) 直売所の魅力を消費者等とともに考える「新魅力創出セミナー」の開催
消費者等からの意見を聞きながら新しい魅力を主体的に情報発信して行くための方策等を探るセミナー等を開催する。
- (2) レストラン、飲食店向けに食材PRを行う展示会等の開催
備中産農林水産物を広くアピールするため協働推進室等と連携し各種イベントとタイアップしながら食材PRを行う。
- (3) 女性ネットワーク員のアドバイザー制度活用による地域特産品づくりの促進
女性ネットワーク員7名を、開発、地域づくり、食育部門等のアドバイザーとして登録し、各生産者、加工グループ、農協等から申込があった場合、地域特産品づくりアドバイザーとして派遣し地域特産品開発の支援を行う。
- (4) アンテナショップや都市圏でのイベントを利用した効率的なPRの展開
協働推進室と連携し関西圏で開催されるイベント（全国ふるさと観光物産展等）を活用したPRを行う。
- (5) 各地域で特色を生かした地産地消フェアの開催
倉敷・井笠・高梁・新見において各団体が特徴的な地産地消フェアとなるよう取組を支援する。

フードアクション備中プログラム2010

1 食料自給率向上啓発備中流アクション

- ホームページ（フードアクション備中）や地域のメディアを活用した啓発



- 食料自給率向上対策会議活動の促進（出前講座等による普及啓発）



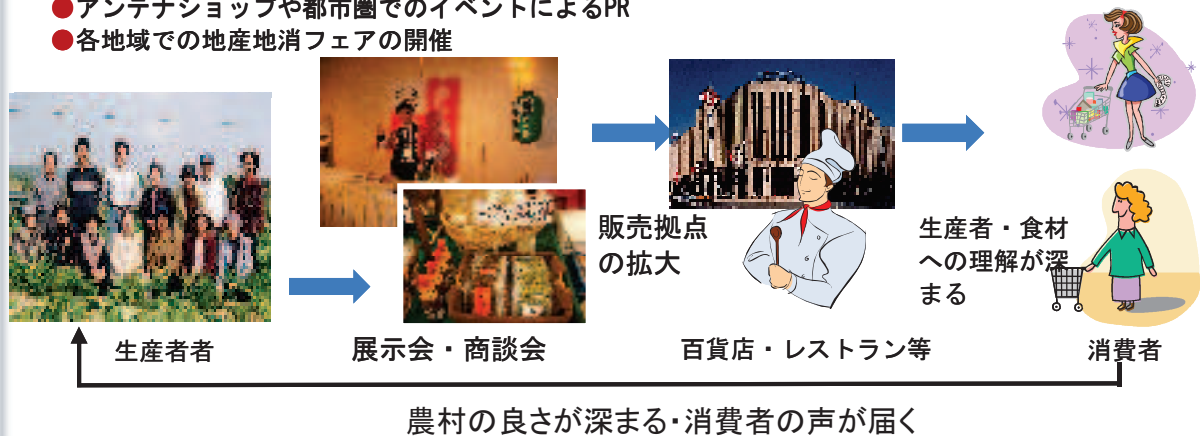
- 各々が主体的に取り組む食料自給率向上活動の支

- 米粉・米粉製品の普及・利用推進



2 備中地域食材の産地と街を結ぶアクション

- 直売所の魅力を考える「新魅力創出セミナー」の開催
- レストラン、飲食店向け食材PRのための展示会
- 女性ネットワーク員のアドバイザー制度活用による地域特産品づくり
- アンテナショップや都市圏でのイベントによるPR
- 各地域での地産地消フェアの開催



事業効果

食料の安定供給・食料自給率の向上の必要性を理解



主体的に取り組む組織への支援

協働の範囲の拡大と内



百貨店・レストラン等での需要拡大

地域経済の持続的成長



商品開発意欲の醸成



食料自給率のアップ